

研究施設昭和52年度報告

I 人事異動

本年度より助手として渡辺隆一氏が赴任された。各方面の御理解、御協力を得た。氏の専門は植物生態学であり、氏をむかえて志賀山周辺の調査並びに自然教育活動に一同張りきっている。

II 運営会議

昭52年6月17日、第1回運営委員会、学部第2会議室、昭和51年度事業報告、同決算報告、昭和52年度事業案、同予算案につき討議承認、出席者、施設長羽田、運営委員堀井、小林(詢)、鈴木(良)、伊藤、松沢、竹内、高見沢、新井、布谷、中村、施設員渡辺、赤羽、事務局北沢、田子、山本、水谷、勝野、山岸、古平(敬称略、順不同)。

昭52年10月6日、第2回運営委員会、志賀施設演習室、昭和52年度予算について報告、宿泊利用について協議、出席者学部長岡宮、施設長羽田、運営委員堀井、小林(詢)、鈴木(良)、伊藤、林、竹内、布谷、中村、施設員渡辺、赤羽、宮下、事務局山本、水谷、勝野、山岸(敬称略、順不同)。

昭52年12月6日、第3回運営委員会、学部第2会議室、志賀自然教育研究施設の拡充整備案、特にかやの平分室設立、それともなうかやの平ブナ原生林内に特別調査地域を借用するための伐採計画の一部中止に関する長野営林局長あて陳情書等について報告並びに協議、承認、出席者施設長羽田、運営委員堀井、小林(詢)、伊藤、島田、松沢、竹内、高見沢、新井、布谷、中村、施設員渡辺、赤羽、事務局北沢、田子、山本、水谷(敬称略、順不同)。

昭53年1月18日、第4回運営委員会、学部第1会議室、昭和54年度概算要求案について協議、承認。特に12月6日に報告された陳情書を受けて、長野営林局より伐採計画の一部変更の内諾があった旨の報告があった。出席者、施設長羽田、運営委員堀井、小林(詢)、伊藤、島田、松沢、高野、竹内、新井、布谷、中村、施設員渡辺、赤羽、事務局田子、山本、水谷、勝野(敬称略、順不同)。

III 施設管理・充実

展示館の開館は5月1日、閉館は11月25日、整備4月と11月に行なう、標本として新たにノウサギの冬毛と夏毛が加えられた。展示物の模様変えを行ない、志賀山の地形、地質、地史のブロックダイアグラムによる解説図、自然園の四季と花ごよみ、樹林の構造、鳥類のなわばり分布、森林内のすみわけ、哺乳類のあしあととあしあと分布、生態系解説図等を作製し展示した。

ロックガーデンの富栄養化が目立って来たので、4月より前年の落葉除去、9月に一部植物の土の入れかえと、植えかえを行なった。

自然観察路は、本年雪どけが早く、5月より土どめ、溝掘り、落枝落葉除去、やぶ刈り等を行なった。木場湿原の橋、二仔岩手前の橋が落ちそうになったので修復、質問板は6月にとりつけ、特に長池広場には解説(図説)板をとりつけた。11月にとりはずす。

IV 印刷物

パンフレットは例年の如く5000部、6月から10月まで展示館入口にて無料配布。

研究業績第15号は800部印刷、各方面へ配布した。

本年より長池の四季を印刷、謄写版で400部、5月より10月まで月1回、11月に冬号と合計7回発行し、展示館入口で配布及び志賀高原内各旅館に配布した。

V 自然探勝会・説明会

7月、8月に毎日午後1時より2時まで、希望者を集めて長池周辺を中心に説明会を行なう。参加人員482名(7月223名, 8月250名), 団体で申込みのあったもの1487名。

志賀高原旅館経営者, 従業員を対称とする自然観察会を7月に3回行なう。参加者30名。

志賀高原観光協会の自然探勝会の案内, 説明を8月に4回行なう。参加者68名。

VI 自然教育実習

昭52年度理科教材単位取得学生の志賀自然教育実習は2泊3日の日程で行なった。第1回は6月21日より7月1日まで第1～4班, 第2回は7月23日より25日まで第5班, 第3回は8月27日より31日まで, 第6, 7班, 第4回は10月12日より16日まで第8, 9班, 合計337名が終了, 18ページのテキストを作製し全員に配布。

VII 大学公開講座等

大学公開講座「自然保護」を開講, 8月1日より4日までの3泊4日, 参加者は19名, 24ページのテキストを作製配布。

堺市立教育研究所「野外動物観察講習会」を7月25日より28日まで, 3泊4日で行なう。30名参加。

VIII 施設利用状況

宿泊施設の一般利用者は, のべ2,712名。このうち学部関係利用者数は1,135名である。4月から10月まで1,400名, 11月から翌年3月まで1,312名と, 夏, 冬ほぼ同数が利用している。主な利用者と利用目的を表1に示した。

展示館, 自然観察路の利用状況は, 展示館入口に記入名簿をおいて調査した。この結果を表2, 3, 4に示した。記帳した参観者は合計23,024名であり, 前年より1,500名ほど増加した。めだった特徴としては5, 6月及び9月に修学旅行の団体の入園が増加し, 7, 8月の団体がへって来ている。7, 8月は小グループ及び家族旅行者の入園が目立つ。なお記帳の状況を見るに, 入園者の3分の1以上は記帳していない。全入園者数は3万名余になるとと思われる。

表1

主な宿泊施設利用目的と利用者		
(一般研究・研修)		
6月3～5日	I. B. P地域内での土壌調査	玉川大学農学部竹島征二 他7名
7月14～15日	植生調査	信州大学教養部清水建美 他3名
14～19日	東京都立大学生態学野外実習	東京都立大学理学部北沢右三 他17名
21～23日	信大附属養護学校中高等部宿泊訓練	養護学校北沢常信 他40名
25～28日	堺市小中学校教員研修会	堺市科学教育研究所西河幸雄 他29名
8月1～4日	信州大学教育学部大学公開講座	佐藤貢 他20名
6～7日	I. B. P地域内での土壌調査	玉川大学農学部竹島征二 他4名
6～9日	I. B. P—P T志賀山調査	松山東雲短大松原吹子 他3名
11～15日	臨界現象の理論研究会	名古屋大学理学部中野藤生 他17名
18～19日	奥志賀地域の地質調査	信州大学教育学部斉藤豊 他1名
18～21日	バイオレオロジー研究会	信州大学医学部福島孝義 他14名
26～27日	信大附属養護学校小学部宿泊訓練	養護学校久保川幹夫 他9名
10月7～8日	志賀高原湖沼の水質調査	大阪府立大黒木宜彦 他6名
20～22日	I. B. P地域での土壌調査	玉川大学農学部竹島征二 他4名

1月27～29日	積雪斜面における滑動実験		信州大学工学部長瀬除	他6名
2月3～7日	核生成の研究會		新潟大学理学部小林迪助	他14名
19～22日	極地方式の实地研究		宮城教育大学高橋金三郎	他9名
	(教育学部学生実習・研修)			
6月21～7月1日	理科教材志賀実習	154名		
7月23～25日	〃	29名		
8月27～31日	〃	77名		
10月12～16日	〃	77名		
			} 337名	
2月28～3月1日	理科学生の合宿研修	34名		
	(卒論研究)			
5月28～29日	奥志賀地域の湖成層の研究		教育学部理科地学井上和子	他4名
10月6～7日	〃		〃	
1月8～10月	施設設備使用のため		教育学部理科生物小野まち子	他3名
	(常時利用者)			
	志賀高原の湖沼の水質調査		諏訪市高島小学校市村吉正	

表2 来館団体の種類

	県 外		県 内		計	
	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)
小 学 校	19(10.1)	2,164(13.2)	7(33.3)	417(26.6)	26(12.5)	2,581(14.4)
中 学 校	422(2.5)	6,887(42.3)	3(14.3)	658(42.0)	45(21.6)	7,545(42.3)
高 等 学 校	522(7.8)	4,437(27.3)	2(9.5)	296(18.9)	54(26.0)	4,733(26.5)
大 学	13(7.0)	318(2.0)	3(14.3)	31(2.0)	16(7.7)	349(2.0)
一 般	61(32.6)	2,471(15.2)	6(28.6)	165(10.5)	67(32.2)	2,636(14.8)
計	187(100.0)	16,277(100.0)	21(100.0)	1,567(100.0)	208(100.0)	17,844(100.0)

表3 団体の県内外の比率(%)

	団 体					計
	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	大 学	一 般	
県 内	26.9	6.7	3.7	18.7	9.0	10.1
県 外	73.1	93.3	96.3	81.3	91.0	89.9

表4 月別参観者数

月	個 人 (%)	団 体		計
		団 体 数(%)	人 数(%)	
5	325(6.3)	16(7.7)	2,420(13.6)	2,745(11.9)
6	297(5.7)	18(8.7)	2,851(16.0)	3,148(13.7)
7	949(18.3)	60(28.8)	5,33(929.9)	6,283(27.3)
8	2,787(53.9)	53(25.5)	2,366(13.3)	5,153(22.4)
9	287(5.5)	25(12.0)	2,093(11.7)	2,380(10.3)
10	471(9.1)	33(15.9)	2,558(14.3)	3,029(13.2)
11	64(1.2)	3(1.4)	217(1.2)	281(1.2)
計	5,180(100.0)	208(100.0)	17,844(100.0)	23,024(100.0)